

# Matsuda



町議会サイトは  
こちらから

 松田町議会だより

**No.236**  
**2024.11.1**



## パパとお買い物 『いちごちゃんのおつかい』

(10月6日開催：松田・寄幼稚園2園合同運動会)

第3回定例会の概要・決算質疑	2
特別委員会報告・決算討論	5
条例・補正予算	6
議案審議結果一覧	7

一般質問	8
議会報告会・意見交換会	14
行政視察報告ほか	16

# 9 会計の決算を認定

歳入 87億7892万円 歳出 81億4296万円  
歳入歳出差引残額 6億3596万円

本会議3日目の9月6日、町長より令和5年度の一般会計及び8特別会計等の歳入歳出決算が一括上程され、代表監査委員の決算報告が行われました。

一般会計の決算額は、歳入59億2011万円に対し、歳出54億1755万円で、特別委員会に付託されました。

一方、8特別会計等の決算総額は、歳入32億5807万円に対し、歳出30億6547万円でした。

9月9日には、議員11人と議長（オブザーバー）による一般会計決算審査特別委員会を開催し、町長・副町長・教育長、以下参事・課長職から係長職までの職員が出席して、詳細に審査を行いました。

ここでは、一般会計決算審査特別委員会等の主な審査概要をご紹介します。

# 令和6年 第3回定例会

会期 9月4日(水)～12日(木)

**9/4 一般質問**  
中津川議員・  
秋田谷議員 (P8)  
寺嶋議員・南雲議員 (P9)  
飯田議員・田代議員 (P10)  
吉田議員・武尾議員 (P11)

**9/5 一般質問**  
井上議員・古谷議員 (P12)  
北村議員 (P13)

**議案審議**  
議案5件(条例・補正予算)

**9/6 議案審議等**  
認定9件(決算)  
**現地視察**

**9/9 委員会審査**  
特別委員会(決算)

**9/10 委員会審査**  
総務文教常任委員会(陳情)

**9/11 委員会調査**  
産業厚生常任委員会  
議会広報広聴常任委員会

**9/12 議案審議等**  
委員会報告1件(決算)  
認定8件(決算)、報告ほか

## 一般会計決算の主な質疑

### 歳入

**質** 固定資産税584万896円が不納欠損の理由は。

**答** (総務課)

全部で7人の方が不納欠損ということで処理をしている。このうちの1人の496万円は、執行停止をする前に家賃収入の差押えや家屋及び物品の公売により約250万円の滞納処分を行っている。その後、財産や年金、生活実態調査を行い、滞

納処分できる財産がほかにないと判断し、令和3年の3月に滞納処分の執行停止をした。そこから3年が経過しているので、令和5年度で不納欠損という処理をした。そのほかの6人については、法人が2件で約75万円、個人の方が4人で約12万円ということで、合わせて584万円の不納欠損を計上している。

**質** 応援寄附金が5年度に増額した要因は。

**答** (定住少子化担当室)  
1つ目はゴルフ場に自販機を設置したことで、それが通年で寄与し、約1500万円の増収があった。またオリジナルビールも3400万円ほど寄附があった。まち・ひと・しごと創生寄附金で(企業版ふるさと納税)令和4年は5件であったが、令和5年は10件ほどの御寄附を頂いた。その中に、大口の寄附として1件3000万円ほどの寄附があったということ、大幅な増収になった。

**質** 住宅使用料、籠場住宅、町屋住宅、町営住宅等家賃収入は、何戸収納されているのか、また前年の比較はどうなっているのか、さらに家賃滞納、収入未済、家賃滞納の件数や、収納対策はどのようになっているか。



**答** (総務課)  
町営住宅は32軒で、使用料は約50万円の増加となった。公的賃貸住宅については21部屋で3部屋空室があり9万1800円の減収となった。地域優良賃貸住宅使用料については、28部屋中2部屋空室があり、前年度比110万5400円の減となった。滞納者へは定期的に面談等をし、分納の誓約書を取りながら対応している。その他の方には、電話による督促、訪問等の対応で徴収をしてきている。

**質** 町営住宅は入居募集しているのか。

**答** (総務課)

籠場住宅及び町屋住宅は、管理会社と協力しながら、ホームページや広報等を通じて募集してい

る。それ以外の古い住宅についても、空きが出たらその都度広報やホームページで募集をしている。戸建ての住宅については、老朽化しているため、退去者が出て新規の入居は募集していない。

**質** ゴルフ場の自販機の稼働率を上げるのにどのような工夫されたのか。

**答** (定住少子化担当室) ふるさと納税自販機を利用者の多いゴルフ場に配置換えした。また、2次元バーコードを読み込みながら、決済するようなシステムを取り入れ、町内にあるゴルフ場を網羅する形で寄附を募った。

## 住宅

**質** 町営住宅解体整地工事請負費234万円は、住宅3軒分と聞いているが、あと残り解体予定軒数は何軒か。

**答** (総務課) 毎年2〜3軒解体をしており、今後解体予定は17軒となる。

## 政策

**質** 定住少子化対策支援事業の効果は。

**答** (定住少子化担当室) 新築建物36軒の内、住宅取得促進奨励金交付対象が30軒となる。この補助金は転入者だけでなく町内の転居者にも支給している。

**質** ふるさと納税の歳入でオリジナルビールの寄附が3400万円ほどあるが、経費はどのくらいかかっているのか。

**答** (定住少子化担当室) 1ケース3360円のほかに発送経費等がかかっている。

**質** ふるさと納税のビール取り扱い会社は町内企業であるか。

**答** (定住少子化担当室) 中間事業者は県外であるが、販売は町内の酒販事業者にお願いしている。

## 窓口・環境

**質** マイナンバーカードの発行枚数は。

**答** (町民課) 8月末で交付件数8509件、交付率81.1%となっている。

**質** 水素酸素発生機2台とA1測定器1台を購入予定だったが、利用状況と成果は。

**答** (子育て健康課) 予算は計上していたが、財源の確保が難しい状況で、令和5年度は購入を見送った。6年度は交付金を活用しA1測定器を購入し、委託で、水素酸素吸入事業を実施する。

**質** 合併処理浄化槽整備費補助金が利用されているが、転換状況は。

**答** (環境上下水道課) 現在184軒が転換済みである。なお、当補助金は、町・県・国を財源として支出しているが、県補助分は、令和8年度で終了予定であるため、対象の個人宅を訪問して転換を啓発している。

**質** 合併処理浄化槽事業で寄地区は敷地も広く、合併処理浄化槽に繋ぐ管の距離が長く、個人の負担が大きいと聞くが何かいい方法は。

**答** (環境上下水道課) 合併処理浄化槽の補助金では、配管にかかる費用も50万円を上限として



整備予定の河土川

対象としているので、分かりやすいように周知・啓発していく。

**質** 河土川の再生保全事業は上流と、下流の整備が進んでいるが、中間の整備が残っている状況だが。

**答** (環境上下水道課) 水源環境保全税を利用しての事業であり、水質浄化を目的に生活雑排水の流れ出ている箇所を選定して事業を執行している。

## 経済・観光

**質** 上郡5町のジビエ工房整備事業が完成したが、これまでの実績、稼働日数、捕獲搬入頭数など。

**答** (観光経済課) 令和5年10月から稼働しており令和6年3月まで110日営業し、搬入頭数は36頭であった。上郡5町共同で設置、運営し、有害鳥獣対策が主な目的としているので、事業が自走できるよう支援

を続ける。

**質** 感染症対策の商工振興商品券発行事業の商品券取扱店舗の数と売上げがどのくらいあったのか。

**答** (観光経済課) 商品券取扱店舗数は107店舗。発行額4550万円に対し換金総額は4505万5千円であり、換金率は99%であった。

**質** ナラ枯れ対策事業として65万円ほど執行しているが、支障木伐採の場所や本数について。また、ナラ枯れ対策として重要なのは伐採木の処理であるがどのように処理したのか。

**答** (観光経済課) この事業は国県の補助が75%もあるので、事業を拡充すべきではないか。寄地区においてナラ枯れにより枯死し、倒木や落枝の危険性の高い支障木を7本伐採した。処理方法は県のガイドライン

に基づく手法で伐倒駆除・燻蒸で実施した。

町の森林計画に定められている範囲内であれば補助の対象になるので県への要望を増やすことは可能である。

**【質】 地域水源整備委託料として446万6千円を執行しているが、委託業務の内容について。**

**【答】**（観光経済課）

神奈川県指定の水源工リアから外れた私有林において、町が地域水源林エリアとして位置付け実施しているもので、松田山の南斜面において林齢36年以上の私有林の間伐等の施策を実施している。測量に284万6千円、間伐に162万円執行した。

## まちづくり

**【質】 新松田駅北口再開発事業支援及び設計業務委託料として39338万円**

執行しているが、その内訳や事業の進捗状況について。

**【答】**（まちづくり課）

支援業務として1760万円、設計業務として2178万円を執行した。進捗状況としては、都市計画決定に向け、関係機関や県都市計画課と協議を進めているが、神奈川県警本部との交通協議は終了している。

## 子育て・教育

**【質】 英語教育講師給料はA.L.T.の給料かと思うが、現在何人でどのようなことをしているか。**

**【答】**（教育課）

全部で4人。松田中学校に1人、松田小学校に1人、松田幼稚園に1人、寄幼稚園と寄小学校に1人配置している。学校での業務は先生の補助で、幼稚園はイングリッシュタイムを設けている。また、週に2〜3回程度、

学童保育にも派遣している。あとは子どもたちと一緒に行動をしながら英語のシャワーを浴びせるという役割を担っている。

**【質】 英語教育講師事業の今後の計画は。**

**【答】**（教育課）

令和6年度から1人増え、保育園に派遣をしている。さくら保育園は9割方松田町の子どもたちで、幼稚園と差がない英語教育をということで実施している。学校のカリキュラムや幼稚園の様子を見ていると、発展途中ではあるが、充実した英



寺子屋松田夏休みの巻・英語講座

語教育を実施できていると思っている。今後については、やり方に工夫することや、幼稚園・学校以外でイングリッシュカフェ等を開くなどして、更に充実させていきたい。

**【質】 ICT活用促進事業の委託料の具体的な内容は。**

**【答】**（教育課）

ICT支援員2人が松田小・中学校、寄小学校を回っている。訪問日数は年間171日、1校当たり57日程度行っている。時間は9時から17時。業務内容はICT機器操作方法の指導や、授業におけるICT機器の活用への支援、助言、授業前のICT機器の準備など、ICT関係の先生方のサポートを行っている。

**【質】 未来トップランナーとスパーキッズの助成金が執行されているが、どのような方を対象に執行されたか。**

**【答】**（教育課）

未来トップランナーは、将来を嘱望されている子供たちの活動のために交付し、令和5年度は、ダンス3人、野球1人、卓球1人の計5人。スパーキッズは団体の育成補助金となり、12団体211人分を支出した。

**【質】 スポーツリズム推進委託料2377万円**

**【答】**（教育課）

令和5年度・6年度の継続事業のため、6年度終了後に最終的な結果と町の方角性について示す。

**【質】 認定こども園の方角性はどうなっているか。**

**【答】**（子育て健康課）

認定こども園については、第3期子ども・子育て支援事業計画を策定する中でニーズ調査を行うので、保育等の必要量の分析をしていきながら、方向性を含めて検討していく。

**【質】 2026年度から本格的にこども誰でも通園制度が始まる。これは1人1か月10時間まで、仕事をされていない家庭でも保育園等に入園できる制度である。この対応に関して、町内保育園で、預かるキャパはあるか。**

**【答】**（子育て健康課）

こども誰でも通園制度については、さくら保育園、なのはな保育園と調整をしているが、保育士確保などの問題もあるため、今後更に詰めて考えていく。

## 財政ほか

**【質】 財政調整基金で県債を購入しているが、何かルールがあるか。**

**【答】**（政策推進課）

今年度財政調整基金の現金の一部、2億円を県債に切り替えた。条例で有価証券等に替えることが認められている。「現実で有利な方法で」とい

う決まりはあるが、金額の上限は決められていない。ただやはり必要な時に使えるのは現金なので、バランスを見ながら購入額を決めている。

**質** 令和5年度決算の後の財政状況はどうなるのか。公債費比率は。また今後小学校建築の返済や駅事業などを踏まえて、何年くらいが高くなっていくのか。

**答** (政策推進課)

毎年、予算議会では法令に基づき実質公債費比率を提示しているが、令和22年度に9.9%で一番高くなる見込みとなる。

**質** 男女共同参画についての決算金額は5万28

15円と少額だが、どういう事業をやったのか。令和5年度、男女共同参画の進捗状況はどうだったのか。全国的には人口減



少の要因として若い女性の流出が深刻だが、当町のデータはどうか。それを踏まえて対策はしているか。女性の声が届きにくい町になっていないか。

**答** (政策推進課)

講師を呼んで講演会をやった謝礼が主である。昨年度に男女共同参画プランを更新したが、女性活躍の数値目標も掲げており、女性管理職や様々な審議会の女性メンバーも少しずつ増えてきたところである。当町の人口動態については、20代の女性が転出入ともに多いというデータを把握している。様々な方法で女性の意見を聞ける場を作っていくかなくてはならないと考えている。

### 一般会計決算審査特別委員会報告書（抜粋）

1. 審査の結果 採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。
2. 審査の内容 歳入については一括、歳出については各款を単位として、適切な執行がなされたかを中心に審査を行いました。なお、次のことについて留意されたい。
  - (1) ふるさと応援寄附金返礼品の経費が高額なものについては縮減に努め、適切な額となるよう取り組まれない。
  - (2) 西平畑公園給水ポンプなどの更新については、計画的に実施するとともに不測の事態に対応できるよう、各施設においても危機管理体制に万全を期されたい。
  - (3) A I オンデマンドバス・スポーツツーリズム推進事業・ジビエ処理加工施設の運営など、大規模事業に関しては適宜、進捗状況を報告されたい。

## 認定第1号 令和5年度松田町一般会計 歳入歳出決算の認定について【討論】

### 反対討論

寺嶋 正 議員

令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について、反対の立場から討論を行います。歳入決算額は前年度対比3.1%増の59億2011万円、歳出決算額は前年度対比2.7%増の54億1754万円で、歳入歳出差引き5億256万円の剰余金が生じ、繰越明許費の「松田中学校整備事業」ほか7事業に係る翌年度への繰り越すべき財源7066万円を除いた実質収支額は4億3190万円となりました。実質収支残高が多くなっており、適切な予算措置と事業執行に努められたい。

歳入では、自主財源の主たる町税は15億6334万円となり、依存財源の地方交付税は13億5728万円、国庫支出金は8億2373万円、町債2億2000万円となりました。歳出では、人件費、扶助費、公債費を含めた義務的経費は23億2478万円となりました。令和5年度末の地方債現在高は53億7437万円となり、結果として町税の不納欠損額は659万円、収入未済額は5098万円もあり、収納向上対策が求められています。

普通建設事業では、松田中学校校舎改修工事、松田小学校太陽光発電設備整備工事、町道19号線町屋踏切改良工事など実施しました。今後の新松田駅周辺整備事業では、再開発によるビル建設や北口駅前広場整備事業などの大型事業が控えており、扶助費や公債費の増加等で厳しい財政運営が予測され、町民サービス低下を招かないような町政運営を行うことです。

18歳までの小児医療費助成事業や空き家の利活用のための改修や解体への補助事業などは評価しますが、事業の未執行や不用額が多く見受けられるので十分精査すること。新松田駅南口駅前広場整備事業が滞っており引き続き尽力すること。A I オンデマンドバス実証実験では、運行エリアを拡大し利便性の向上を図り、利用者を増やして持続可能な事業にすること。町消防団員は定員数に対して大幅に下回っており、町民の生命と財産を守る立場から団員を増やすことなど申し上げて決算の反対討論とします。

この決算は「子どもから高齢者までが安心して暮らせるまち」を目標とする「チルドレンファースト」の理念に基づく2年目の決算で、松田町の未来に向けて大きな一歩を踏み出したものとして、**私たちに希望と責任を感じさせるものです。**

特に、**新松田駅北口地区の市街地再開発事業**は、町民にとって生活の利便性を大きく向上させるだけでなく、地域経済の活性化という重要な目的を果たすものです。この再開発プロジェクトは、松田町のさらなる成長を後押しするために必要不可欠です。**町民が長年にわたって求めてきた変革が、いよいよ現実のものになるうとしています。**

また、**新モビリティサービス推進事業**としてA1技術を活用したオンデマンドバス「**のーと足柄**」の試験運行がスタートしました。松田町地域公共交通計画の基本理念である「**誰もが“笑顔”で行きたい所へ行けるまち 松田**」が現実になれば、松田町の成長の下支えをすることができ、そのための第一歩として意義ある施策です。

その他にも、豊かな自然を活用したスポーツツーリズムやジビエ処理加工施設の整備は、松田町の新たな魅力になるものと考えます。また、防災インフラの整

備については、学校施設の改修が進み、災害に備えた安全対策も強化されました。それだけでなく子育て支援や高齢者福祉も進展していることが確認できました。

財政面においても、堅実な運営がなされていることを示していますが、私たちが目指すべきは「次のステージ」です。**未来に向けて、私たちは新たな挑戦を続け、さらに大胆な施策を打ち出す必要があります。安定した財政基盤の上に、より大きな成長を目指す勇気を持たなければなりません。**

**令和5年度の決算は、松田町の挑戦と成長を示すものです。**

健全な財政の上での大規模な施策ときめ細かい施策により、**松田町は一步ずつ確実に前進しています。**

日本の人口が徐々に減少している未曾有の状況の中で、時が経てば経つほど、従来の社会システムに不具合が生じ、課題が増えていくのは自明の理です。

それを防ぐために松田町の進展を止めずに、さらなる未来へと歩み続ける必要があります。

この決算は、そのための確固たる基盤であり、**私たちはこの基盤の上に、さらに大きな松田町の未来を共に築き上げることを目指し、「歩みを止めることなく」前進し続けることを誓い、賛成討論といたします。**

討論は、討論者本人の原稿を尊重し編集しています。

# 条例

▼議案37 松田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

令和7年度から町立小・中学校にコミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)を導入するにあたり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第47条の5の規定に基づき学校運営協議会を設置することに伴い、新たに委嘱する学校運営協議会委員に対する報酬等を支払うため、所要の改正をするものです。

# 補正予算

▼議案38 令和6年度松田町一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出それぞれ4億2831万7千円を追加し、予算総額を57億55

32万1千円とするものです。

主な内容は、歳入は地方交付税、デジタル田園都市国家構想交付金、ふるさと応援寄附金、前年度繰越金など、歳出は地方創生拠点整備事業、デジタル実装事業や、新松田駅周辺整備基金積立金、教育施設整備基金積立金などを補正するものです。

▼議案39 令和6年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ336万3千円を追加し、予算総額を5767万6千円とするものです。

主な内容は、歳入は、前年度繰越金、協定締結医療機関設備整備費補助金、歳出は上記補助金を活用した物品購入に伴う備品購入費を補正するものです。

▼議案40 令和6年度松田町介護保険事業特別会

計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ4189万5千円を追加し、予算総額を12億557万9千円とするものです。

主な内容は、歳入は介護給付費繰入金、介護給付費交付金過年度収入、前年度繰越金、歳出は保険給付費の財源補正、介護給付費負担金過年度分返還金などを補正するものです。

▼議案41 令和6年度松田町一般会計補正予算(第3号)

既定の歳出予算を補正するものです。

主な内容は、台風10号にかかる災害復旧経費として、一般農林道水路等補修工事や、最明寺史跡公園災害復旧工事などを補正するものです。



倒木のあった最明寺林道

# 議案審議結果一覧

## 第3回定例会（9月議会）

○…賛成 ●…反対 可…可決 認…認定

議案等番号	議案等	議員名(議席順)	審議結果	北村	武尾	吉田	中津川	秋田	古谷	田代	井上	南雲	飯田	寺嶋
				和士	哲治	功	定雄	光彦	星工人	実	栄一	まさ子	一	正
議案37	松田町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	令和6年度松田町一般会計補正予算（第2号）		可	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
39	令和6年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	令和6年度松田町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
41	令和6年度松田町一般会計補正予算（第3号）		可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定1	令和5年度松田町一般会計歳入歳出決算の認定について（一般会計決算審査特別委員会報告）		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
2	令和5年度松田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	令和5年度松田町国民健康保険診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	令和5年度松田町上水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	利益の処分	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		決算の認定	認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	令和5年度松田町寄簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	令和5年度松田町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	令和5年度松田町介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	令和5年度松田町用地取得特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	令和5年度松田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について		認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 第3回臨時会（7月25日）

議案36	工事請負契約の締結について（令和6年度寄みやま運動広場人工芝新設工事）		可	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○
------	-------------------------------------	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※ 平野由里子議長は採決には加わらない。

\*\*\*\*\*  
 \*  
 \* **令和6年 第4回定例会は12月3日(火)開会予定** \*  
 \* **ぜひ、傍聴にお越しください。** \*  
 \*  
 \*\*\*\*\*

# 一般質問

## ここが聞きたい

町長等の執行者に対して、町政全般の事務事業等の執行状況や政策方針などを聞くことが一般質問です。町では、一般質問の録画映像をYouTubeにて公開しています。

スマートフォン等をご利用の方は、各議員の2次元バーコードを読み取りご覧ください。パソコン等から視聴される方は「**松田町議会 YouTube**」と検索していただくと、ご覧いただけます。

### 令和7年度の予算編成に向けた寄地区の活性化施策の考え方などについて



質問者  
中津川 定雄 議員



**質** 令和7年度予算編成に向けた、一過性ではない持続可能な活性化施策の考え方について。

**答** 当初の目的を達成すべく、寄地区特有の課題の解決に向けて、4年程度をかけて様々な事業に取り組み、若い世代に選ばれる寄地域となるよう積極的に取り組んでいく。

**質** 寄みやま運動広場は人工芝に整備されるが、プレー性能や安全性などを維持するための、管理者による日常的な点検や作業、専門業者による定期的なメンテナンスの計画について。

**答** グラウンドの清掃や集水桝フィルターに溜まったパイル片や充填材の除去、出入り口に設置

するエアブラシの清掃などの日常的な維持管理は、現指定管理者である「(有) みやまの里」が実施し、専門業者によるメンテナンスは年2回行う総合点検と併せ実施する予定である。

### A 若い世代に選ばれる寄地域になるよう積極的に取り組む



回答 (町長)

**質** これまで旧寄中学校の利活用事業者の選定は公募型プロポーザル方式を採用してきたが、今回

は条件付き一般競争入札により事業者を選定した。選定方式の経緯や契約内容について。

**答** 公募型プロポーザル方式では事業者の選定には至らなかった。この状況が続くと「旧寄中学校利活用に関する提言書」の考え方が反映できず、また維持管理経費として町の負担が増大していくことから、早期に事業者を選定するのが望ましいと考え、提言書の考えを踏まえることを条件として、新たに賃貸借料の価格のみで競う条件付き一般競争入札の方法に変更した。契約期間は令和16年までの10年間、賃貸借料は年間約850万円である。



整備が進む寄みやま運動広場

### 高齢者の終活支援について



質問者  
秋田谷 光彦 議員



**質** 少子高齢化及び核家族化の進展に伴い、親がもつ財産等の処分について、生前に対処することが重要と考えますが、相談窓口などの対応や対策についてのお考えは。

**答** 社会福祉協議会に、相談窓口の設置、見守り事業、死後事務委任事業を行うための松田町あんしんセンターを開設する。終活相談窓口については常設を予定している。

**質** 空き家・空き地の発生原因については、各種ありますが、相続に起因するものも見受けられます。事業を放置すると、権利関係が複雑になり、土地等が放置され、近隣に迷惑をかけることが心配されます。

**答** このような事業の事前予防としての町の対応は、空き家・空き地も相

### A 社会福祉協議会に終活相談窓口を設置する



回答 (町長)

続に起因するものが多くあり、町は司法書士や終活アドバイザーを招き、活アドバイザーを招き、相続に関する講演、税理士による相続セミナー、高齢者への個別相談を行っている。行政は不動産取引等には関われないが、国としても法制度を改正していく状況にある。死後、家などの町への寄附等についても相談を受け付ける方向。社会福祉協議会では終活などの相談窓口を設置する予定。高齢者には、紙媒体のチラシなどで広報していく。



# 新型コロナウイルス感染症 予防接種について



質問者  
寺嶋 正 議員



大きく予定。



**ワクチン接種の  
自己負担額は  
2500円を予定**

回答 (町長)

**質** 10月1日以降始まる高齢者等に対する新型コロナウイルス感染症予防接種は、無料ではないと伺っています。町は、接種費用の一部を補助し負担軽減を図るお考えは。

**答** 新型コロナウイルス感染症の位置づけは5類なり、ワクチン接種は定期接種となつた。接種対象者は65歳以上の方などで、本年10月1日より接種が開始できる

よう、医師会との調整、準備を進めているが、インフルエンザと同様自己負担が発生するため、町でも接種費用の一部を補助する。新型コロナウイルス予防接種は町が4500円を補助し、2500円を自己負担していた

**質** 相手を大切に思っている気持ちを伝える介護の技法「ユマニチュード(※)」を推進していくお考えはありますか。

**質** 減災により大きな役割を担う地区防災計画の策定の取組を伺います。

**質** 介護の技法のユマニチュードを推進、地区防災計画の作成を支援する

回答 (町長)

# 認知症対策と防災・ 減災対策について



質問者  
南雲 まさ子 議員



お考えを伺います。



なり、ワクチン接種は定期接種となつた。接種対象者は65歳以上の方などで、本年10月1日より接種が開始できる

**65歳以上の方などを対象に  
新型コロナウイルスの  
定期接種を実施しています。**

新型コロナウイルス感染症とワクチンについて

○新型コロナウイルスによって重症化する割合は、65歳以上で高く、重症化しやすいこの年代の方及びこの年代に近く一定の基礎疾患を有する方を対象に10月から定期接種を実施しています。  
○今年度は「サモクロナ」系統の株に対応したワクチンを使用します。  
\*JAL系統の下位系統を含みます。

接種対象者

- 1 65歳以上の方
- 2 60～64歳で心臓や腎臓、呼吸器の機能に障害があり身の周りの生活を程度に制限される方。
- 3 60～64歳でヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり日常生活がほとんど不可能な方。

接種できる期間 **10月1日～翌年3月31日**

接種できるワクチン

定期接種では、以下のメーカーのワクチンを接種できます。自治体や医療機関によって接種できるワクチンが異なる場合があります。詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

定期接種では、以下のメーカーのワクチンを接種できます※※※※	
mRNAワクチン 組換えタンパクワクチン・ファイザー社・モデルナ社・第一三共社・Meiji Seikaファルマ社 (レプリコンワクチン)	組換えタンパクワクチン ・武田薬品工業社

定期接種を受ける方法・費用

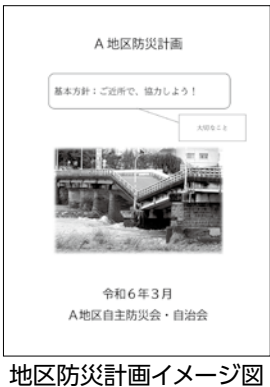
○定期接種はお住まいの(住民票のある)市町村で実施されます。  
○接種できる場所や費用についての詳細は、お住まいの市町村にお問い合わせください。

厚生労働省

**質** 認知症の早期発見・治療の重要性の周知についてのお考えを伺います。

**質** 「地区防災計画」策定後、活用され町民へ浸透し災害に役立つ実効性のある地区防災計画にする必要があると思いますが

**質** 「地区防災計画」にマップの作成、地図の中に一時避難場所や支援が必要な家などを記入する。災害があつたときこれに基づいて一人一人が行動できるようにすることは非常に大切なことと考え、自分自身の働きとして、小さな集会の場で周知していけば実効性が高まると考える。



地区防災計画イメージ図

※ ユマニチュードとは「人間的しさを取り戻す」という意味をもつフランス語の造語です。フランス発祥の認知症のケア技法のことです。(日本ユマニチュード学会HPより抜粋)

# 町の移住・定住政策を問う



質問者  
飯田 一 議員



松田町では人口減少に歯止めをかけ、人口増加を図るべく様々な対策を講じています。

その現状と今後の課題について、お考えをお伺いします。

**質** 今年度も約半年を過ぎようとしています。寄地区定住促進奨励金を新たに創設するなど、人口減少に対し積極的に取り組んでおられますが、移住・定住対策の当初予算に対する執行状況はいかがですか。

**答** 令和5年度では、住宅取得促進奨励金をはじめ移住定住促進事業の様々な奨励金について、当初予算1132万円に対し執行率は56.7%、執行残は641万9千円

となり、今年度も約半年過ぎたが同様の傾向にある。成果については、移住・定住に結び付けるため、本事業について周知の強化を図り、この制度の目的達成を目指したい。

## 予算を最大限、有効に活用する



回答 (町長)

**質** 移住・定住対策も含め、町民の安全・安心対策としての道路等のインフラ整備の対応は万全ですか。



移住フェアの様子

**答** 交通インフラ整備は、安全安心を第一として町道整備基本計画に基づき取り組んでいるが、常時利用する道路は、経年劣化などで、御迷惑をかけるケースもある。予算の執行においては、不用額が出れば町民のために還元するのが基本であるため、優先順位がこれに当たれば必要な事業をしっかりとやっていき、予算を最大限、有効に活用し対応する。

# 高齢者のための「A-オンデマンドバス運行」と「タクシー助成券」の予算について



質問者  
田代 実 議員



新たな公共交通網を構築するため、人工知能による予約制相乗りバス「A-オンデマンドバス」が、令和5年10月23日から実証実験を開始しました。しかし高齢者には利用しにくいようですので、次のことについて町長にお伺いします。

**質** 現在、A-オンデマンドバスは実証実験を試行中であり、「予約時間に來ないので夏・冬は待ち時間が辛い」、「遅延により病院の予約時間に遅れた」、「帰路は遠回りになって不安」などの声があります。今後の運行や料金の見直しに関する対策と方針について。

## タクシー利用券の助成は11月から実施する



回答 (町長)

11月から松田と大井の運行エリアを開成まで拡大して、病院・買い物・駅への利便性を図ると

**答** 高齢者等の苦情に対応するため、最初に予約された車両以外の車両2台も含めて、柔軟に予約に対応できるよう、新たなシステムの導入を行いました。

もに、町内ルートの料金300円を500円(高齢者等割引後200円)に改定する。

大井や開成にまたがる場合は、1エリアに付き300円増の800円を予定している。

**質** 令和6年度に廃止された「高齢者等福祉タクシー助成券」は、高齢者には使い勝手が良いので来年度予算に復活するお考えは。

**答** タクシー利用券の復活は、11月から令和7年3月まで、1回200円(月8回分で5か月・40回分)を助成していきたい。

令和7年度予算は、高齢者や妊産婦の方のタクシー利用券の11月からの利用状況を見て、判断していく。



詳しい料金改定についてはこちら

# 新松田駅周辺の安全と活性化について



質問者  
吉田 功 議員



**質** 新松田駅周辺の渋滞の解消や歩行者の安全の確保の対策として、松田駅と新松田駅間を移動する歩行者や送迎車を整理するために人的配置するというような当面の対策の考えは。

**答** 現在、駅周辺再開発事業で駅前の安全確保に向けて取り組んでいるが、当面の対策としては、警察や鉄道会社との連携によりグリーンベルト設置（舗装、速度規制、県道との交差点における飛び出し注意喚起、渋滞抑制のための啓発活動などを実施してきた。引き続き必要な対策を講じる。

**質** 駅周辺のシャッターが閉じたままの店舗仕様の建物が、店舗として機能

することができように支援する考えは。

**答** 平成30年度より、「松田町店舗リノベーション支援補助金」を創設し支援している。また、「プレミアム付き商工振興商品券の発行事業」「ちよひ呑みフェスティバル」を実施し街中の賑わいの創出を図っている。

**A** 引き続き必要な対策を講じ、安全で賑わいのある町の創出を図る

回答（町長）



**質** 駅周辺という条件に向いている業種や、医療



ロマンス通り商店街

施設のような集客力があり、周辺の店舗に波及効果のある店舗や施設の誘致の考えは。また、商業活性化と福祉活動を兼ねた注文をとって配達する「ご利用き」のようなサービスの考えは。

**答** 再開発事業の中では、既存の店舗等へのヒアリングや医療系施設の可能性を調査している。賑わいの創出は、駅前だけではなく周辺の回遊性という視点も併せ、商工振興会とも相談しながら取り組んでいく。注文を取って商品を届けるようなサービスは移動販売車「ぐるまつくん」で行っている。

# デマンドバス事業を自走可能にするために



質問者  
武尾 哲治 議員



**質** 運行オペレーションを外部委託して、費用を削減する事は可能か。

**答** デマンドバス事業は今年度で2年目となり来年度で実証実験が終了になります。再来年度からの自走にむけての具体的な試みを問う。

**質** 現在他町への乗り入れは有るが、将来この事業を3町で一本化し行う考えはあるか。

**答** 現在他町への乗り入れは有るが、将来この事業を3町で一本化し行う考えはあるか。

**質** 利用者獲得のため、地域での説明会や個別訪問などの営業活動を強化する考えはあるか。

**答** 営業活動強化は必須であるので、スマホセミナーやシニアクラブでの説明会も含め強化していく。

**A** 自走に向けて手を尽くす

回答（町長）



**質** オペレーションについては現在社員1人とバイト1人の2人で行っている。

**答** 実証実験については国の方向性もあり、地域ぐるみでという形だが本格運行の折には、その点も含めて検討していきたい。

**質** デマンドバスを存続させていくためには、町



AIオンデマンドバスの御利用はこちら

民がこの事業を応援するような機運を高めていく事が必要だと思うが、いかがか。

**答** 町民が応援するとう意識を持って乗っていただくだけでも、地域公共交通会議で検討していきたい。

# 新松田駅周辺整備事業に対する 町民のコンセンサスはとう得る



質問者  
井上 栄一 議員



**質** 駅周辺整備・再開  
事業でまちづくりに対し、  
どのように町民のコンセ  
ンサスを得ていくのか。

**答** 平成27年度設立のま  
ちづくり協議会以降、現  
在まで様々な機会を通じ  
て町民からの多様な意見  
等によりコンセンサスを  
図ってきた。

**質** 町民に向けた駅周辺  
整備事業の説明会の中で、  
南北自由通路・橋上駅舎  
という整備事業が姿を消  
し、52mの高層再開発ビ  
ルを建てる当初の基本構  
想・基本計画と違う計画  
が示された。再開発の都  
市計画決定という手続き  
の前に町民の理解を得る  
べきでは。

**答** 都市計画決定手続の  
前に町民説明の場を設け、

審議会等で検討し、意見  
を聞きながら進めていく。  
例えば50mを超えるビル  
の高さ等も現在検討中で  
あり、準備組合の中で慎  
重に議論を重ねている。

現在は、施設・配置計画  
等を検討している段階で  
ある。町民の期待に比べ  
るため、引き続き情報公  
開と意見収集に努める。



**A** いろいろな意見があ  
っても町民の  
要望に向かって  
前に進む

回答 (町長)

**質** 未だ小田急・JR東  
海とは交渉中、検討中で

あるということ、現状  
とあまり変わらない駅前  
広場整備計画・駅周辺の  
まちづくりを一旦立ち止  
まって、町民との協働で  
まちづくりを再考すべき  
ではないか。

**答** 再開発は地権者の協  
力を得てこの事業を進め  
ている。いろいろな意見  
があっても、議論を重ね  
て町民の要望に向かって  
前に進むのが協働である。  
一旦立ち止まるといっ  
ている人も行政と一緒に  
議論をしながら、一つず  
つ積み重ね、進めるよう  
考えている。



新松田駅周辺整備基本構想  
基本計画イメージ図

# 観光農業への取組について



質問者  
古谷 星工人 議員



自然休養村事業の発足  
時には都市と農村の交流  
の場として観光農業の取  
組がされました。現在は  
ミカン狩り、ミカンオー  
ナー園、さつまいも堀等  
が行われています。

次のことについてお伺  
いいたします。

**質** 町内観光農業の現状  
について。

**答** 町内の観光農業は、  
「芋堀り園」が1園、「み  
かん狩り園」が3園、「み  
かんオーナー制度」は8



芋堀り体験

園、「ブルーベリー摘み  
取り園」1園となってい  
る。

町の農業生産額は、果  
実8000万円、茶、野  
菜がそれぞれ1000万  
円以上の作物である。  
農業従事者の高齢化や  
担い手不足が課題となっ  
ている。

**質** 持続可能な観光農業  
の推進について。

**答** 持続可能な観光農業と  
するため「稼ぐ」をキー  
ワードとした取組を進め、  
必要な初期費用などの支  
援策に取組む。

**A** 必要な初期費用を  
支援し、協力する

回答 (町長)



松田ブランド認定品  
「さくら鱒の燻製」

**答** 農業の課題解消と観  
光施策を充実させ、観光  
農業を推進していくため  
には、本町の観光事業と  
商業との連携が不可欠で  
ある。「松田ブランドの  
認定」として、農産物の  
6次産業化や付加価値を  
付けた商品販売を展開し、  
地元農産物の活用を推進  
する。

また、旧寄中学校校舎  
の事業者と連携し人材育  
成、特産品の開発、持続  
可能な農業経営、観光農  
業推進に向けて取り組ん  
でいく。

# 松田町の新たな魅力となり得る 人財バンクの活用について



質問者  
北村 和士 議員



**質** 松田町人財バンクができて、約1年。人財バンクは住民の居場所、行きが、新たなコミュニティ、世代間交流の場など、松田町の新たな魅力となると期待しています。が、現状と今後の活用策は。

**答** 導入に併せて配置されるスクールコーディネーターに人財バンクを活用頂くよう要請する。

**A**



学校教育や学童保育、更に多岐にわたって活躍の場を広げられるよう推進していく

回答（教育長・町長）

**答** 23の登録があり、分野は健康、福祉、子育て、学習、スポーツ、芸術文化、国際交流など多種多様で、利用希望者につなぐ体制は整っているが、申し込みは無い。今後は町HPやSNSに活動が分かる紹介動画を掲載して発信するなどして、さらなる周知を図る。

**質** 核家族と共働き世帯が増えている中で、学童保育の利用は、低学年だと207人の内104人と半数以上が利用している

**質** 核家族と共働き世帯が増えている中で、学童保育の利用は、低学年だと207人の内104人と半数以上が利用している

**審議の結果**  
採決の結果は、ページをご覧ください。



寄みやま運動広場

**第3回臨時会**  
7月25日に第3回臨時会を開催し、工事請負契約1件を審査しました。  
▼議案36 工事請負契約の締結について（令和6年度寄みやま運動広場人工芝新設工事）  
7月16日に1億2122万8800円で仮契約を締結した工事請負契約を本契約とするため議会の議決を得るものです。  
指名競争入札を行い、株式会社加藤工務店が落札しました。

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。

## 松田町生涯学習センターの今後のあり方に関するアンケートのお願い

松田町議会総務文教常任委員会（委員6名）では、「生涯学習センターの今後のあり方」をテーマに、調査・研究を行っています。

これをふまえ、アンケート調査を実施することになりました。より良い生涯学習センターとするために、アンケートにご協力をお願いします。



### アンケート用紙設置場所

- ・町生涯学習センター1階ロビー
  - ・町役場2階入口
  - ・寄出張所
- 2次元バーコードから回答することもできます。

募集期限 12月13日（金）



# 議会報告会 意見交換会 活発な意見交換

松田町議会では、7月20日(土)午後7時に寄小学校屋内運動場多目的ルーム(19人参加)、27日(土)午後7時に生涯学習センター展示ホール(7人参加)で、議会報告会・意見交換会を開催しましたので、その概要についてお知らせします。

## 寄会場

### 生涯学習センター

**参加者** 営業は時間短縮になるか。

**議員** 予約がある場合は、対応します。

**参加者** 大ホールの利用件数はどのくらいか。

**議員** 平成29年が5件、平成30年が7件、令和元



寄小学校屋内運動場多目的ルーム

年度が8件です。

**参加者** 大ホールの利用について営業強化などは審議したか。

**議員** 審議しました。町もいろいろな事務所に問い合わせをしたりしているそうです。

### 寄みやま運動広場 人工芝新設工事

**参加者** 大イベントの際の駐車場としても利用しているが、車が人工芝に乗ることによって人工芝の劣化が激しくなり、またそれによりマイクロプラスチックが流出しないか。

**議員** ロウバイまつりは1か月ぐらい開催するため、毎日、車が入ってきて、それによって芝生が

折れたりして、どれだけの影響があるのかを町に確認したところ、「車が入っても人工芝に影響がないような耐久性があり、環境に配慮したものを考えている」との回答でした。なお、マイクロプラスチックの流出防止には水路にフィルタを設置する等の計画をしているとのこと。

**参加者** フィルターによって、どの程度流出防止できるか。

**議員** 97%の流出を防ぐと聞いていますが、しっかりと水質検査をするようお願いしました。

**参加者** 広域避難場所の観点からみても、問題は無いのか。

**議員** 広域避難場所というのは、大きな災害が発生したときに一時的に住民の方が安全な場所に退避できる機能を持ったオープンスペースのことを広域避難場所と言います。実際に避難生活を送るところは、避難所です。避

難所については、町の地域防災計画では、主な選定の場所は学校とか公民館です。既存の建物を応急的に整備して使用します。これらの施設が得難いときには、野外にバラックを設置する等と地域防災計画には規定をしていますが、寄の場合は中学校や体育館、小学校もあります。これらの施設が得難い時というのは考え難く、運動広場にバラックを建てたりすることはまずないと認識をしています。

**参加者** 連日使用するとなると、ナイター照明が眩しく、生活に支障をきたすのではないかと心配されている近隣住民の方がいられるが、その点についての対応は。

**議員** ナイターに関してもしっかりと確認をしていきたいと思えます。現状では、すでに町はナイターの照明の角度について、近隣住民と調整をしていると聞いています。

**参加者** 現在、グラウンドの立ち入り規制があつて、住民が気軽に利用できる環境ではないが、人工芝にするなら、寄の子どもたちや住民が憩いの場として利用できる環境にすることは出来ないか。

**議員** 住民説明会でも「自由に子どもが遊べない、遊んでると怒られる」というような意見が出ました。その後町長に相談し、管理者側と交渉していると聞いています。住民に憩いの場として使えるように要望を伝えていきます。

**参加者** 議会での議論が徹底されていないので、一度立ち止まるという意味で再審議は出来ないか。

**議員** 予算で通しているもので、再審議はできません。これから事業者との契約の審議について臨時議会を招集すると聞いていますので、先ほどの質問点をそこで確認するという形で対応します。

新モビリティサービス  
推進事業

**参加者** 収支が赤字であるのに、なぜバスを追加購入するのか。

**議員** 赤字なのは松田町から委託している事業者です。となると民間なので、赤字が続くと、撤退も考えられます。現在の4台は全部リースで民間



生涯学習センター展示ホール

事業が借りているバスのため、撤退するとバスも何にもなくなってしまう、松田町としても何にもできなくなってしまうので、松田町が4台のうち2台を購入するという考え方は、バスが2台増えるのではなく、いつ事業者が撤退してものるーとを続けられるように購入するという趣旨です。

松田会場

生涯学習センター

**参加者** かなり大きな値上げでしたが、今後どうしていくのか。

**議員** 再度議会として町側に減免率を再検討するよう要望しています。

**参加者** 大雨だと雨漏りするようなので、町側とよく話し合ってもらいたい。

**議員** 承知しました。

**参加者** 大ホールの料金が近隣に比べて高くなっているが、どうなっているのか。

**議員** 従来は使えば使うほど、マイナスになっている状況でした。赤字をどうにかすれば、他の住民サービスをすることが出来るので、その効果を元に判断しました。

**参加者** 登録団体が87.5%の減免で収益が悪くなると思うが、

**議員** 減免はしています、従来よりも値上げし

ています。

**参加者** 値上げによる影響は。

**議員** 新料金は7月からですが、値上げにより使用者が減っているのとことです。ただ、持続可能な施設にするために審議し、30年ぶりの値上げで、登録団体として利用している町民には迷惑がそれほどかからない、そして登録団体以外の方から徴収するような方向性で決定しました。

寄りやま運動広場

人工芝新設工事

**参加者** 予算は確定か。

**議員** 確定です。

**参加者** 人工芝化はやる意味があるのか。

**議員** 寄の活性化として議論し、意味のあるものとして理解しています。

**参加者** 狭いと聞いているが、何に使うのか。

**議員** 子ども用のサッカー場としては2面、大人のサッカー場として1面。他には地域の活性化

に資することに利用できません。

**参加者** 人工芝費用の回収はできるのか。

**議員** グラウンドだけでは費用回収は出来ませんが、寄の活性化につながるのと認識をもっています。議会としても人工芝化で終わりということではなく、継続して投資するよう要望しました。

**参加者** 環境負荷の部分はどうなったのか。

**議員** 流出物については、1mmまでを除去できるフィルターをしっかりと付け、そして更に不織布フィルターを付けて、環境に最大の配慮をする仕様にしました。また、PFASも含めて、今後定期的に検査することで水質のチェックを行っていきます。

**参加者** 長いスパンでチェックしてもらいたい。

**議員** 来年の9月決算時にチェックすることが出来るため、今後も継続して見ていきます。

新松田駅北口周辺  
再開発事業

**参加者** 再開発組合は設立しているのか。

**議員** 現在は、地権者が集まった準備組合の段階です。再開発組合は都市計画決定が認可されたあとに、松田町やコンサルタントが手伝って設立されます。

**参加者** 大坂屋までの道幅が12mになるのか。

**議員** その予定です。

**参加者** 原案の発表は行っただけか。

**議員** 7月11日に事業説明会がありました。未確定部分が多かったため、県に提出する前に確定案を住民に説明するよう要望しています。

いただいたご意見は、町民の皆様の貴重なお考えとして真摯に受け止め、町政に反映するよう努めてまいります。

# 議員行政視察報告

## 厚木駅南地区市街地再開発事業（海老名市）を行政視察

日時 令和6年6月25日

参加者 寺嶋正、飯田一、南雲まさ子、井上栄一、田代実、平野由里子、秋田谷光彦、中津川定雄、吉田功

### 事業の概要

厚木駅南地区市街地再開発事業は、小田急小田原線とJR相模線厚木駅周辺の都市機能の更新と商業の活性化を図るため、駅前広場の整備、周辺道路の新設・再整備、商業および居住機能の集積を通じて、地域交流拠点として駅前に相応しいまちづくりを目指して行われた。

地区が抱えていた課題は、「小売店の閉店等による駅前としての魅力の低下」「老朽化した木造家屋が点在し、火災等の防火性の低下」があった。それらの課題を解決しつつ「商業施設の再編」「土地の高度利用」「公共施設（道路・駅前広場など）の再整備」をめざすことが目標とした。

### 整備の概要

施工面積は約1.0ha、総事業費は89億円、事業期間5年間であり、施設建築物としては、住宅棟は14階と11階の2棟があり、産婦人科が入る2階の店舗棟や5階地下1階の自走式立体駐車場がある。

### 推進体制

再開発組合は県の指導と市のサポートを進められ、市は監査の立場であった。事務局は事務局長・事務局長・特定業務代行者（建設工事会社）で構成され、連絡調整・会合準備・広報・組合の事務処理等を担った。

事務局は事務局長・事務局長・特定業務代行者（建設工事会社）で構成され、連絡調整・会合準備・広報・組合の事務処理等を担った。事務局長は「県土木」出身者でさらに大学院でまちづくりの研究をし、豊富な経験と知識を有した方が担っていた。理事会は理事長を含め

### 経過

て4人で構成され、事務局からの提案を協議し、事業の方針の決定と総会への議案提案を行った。

準備組合の時点では組合員の9割の合意があったが、県の都市計画決定の審査までは時間がかかった。事業者としては、このような事業ではどのような事業でも概ね15年かかるの見込んでいた。令和5年6月の工事竣工（完成）後、マンションの販売が行われて完了した。住居数は201戸で1戸平均が約4500万円の物件となった。その後、建設費が高騰したので、着手時期が1年遅れたら難しい再開発事業になっていたと関係者は分析している。201戸のうち、市外からの転入者は55%となった。

店舗エリアは、安定した家賃収入と公共性を考慮した医療施設と団体事務所が入居していた。住居用駐車場は戸数の約70%の台数としている。この事業の駐車台数は通常のマンションより多くなっており、駐車料金は、月額5000円〜12000円としている。駐車場の多くになると利益は上がらないが、たとえ駅前の物件ではあっても、住民は300m以上の買い物は自家用車を選ぶので、駐車場が多いのがこの住居の魅力になるという判断からであった。所有権者は、権利交換とする権利者と引越しの手間を考え補償金とする権利者がいた。

今回の視察では、市街地再開発の開始から完成における具体的手順や、留意点を知ることができた。それを今後の議会審議に反映したい。

今回の視察では、市街地再開発の開始から完成における具体的手順や、留意点を知ることができた。それを今後の議会審議に反映したい。

寄稿「住みやすいまちを目指して」は今回お休みします。

### 集あとかき

本号では9月定例会において審査された令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定や全議員による一般質問のほか、7月に開催した議会報告会・意見交換会についても結果をとりまとめて報告させていただきます。

開かれた議会を指し開かれた議会報告会は、「コロナ禍のため5年ぶりの開催となりましたが、両会場ともに関心の高い事業や施設利用に関するご意見が多く活発な意見交換になりました。今後はさらに参加しやすい、発言しやすい意見交換会を目指して参ります。」

（中津川）

議会広報広聴常任委員会  
委員長 吉田 功  
副委員長 武尾 哲治  
委員 平野由里子  
委員 秋田谷光彦  
委員 中津川定雄  
委員 北村 和士